

入選

水について考える

浦和実業学園中学校 一年 長谷川 梨里

田舎の祖父の家で水道水を飲んだら、自分の家の水よりもおいしい気がしたこと、家の水道に浄水器を付けるかどうかお母さんが悩んでいたこともあり、水に興味を持ちました。そこで、おいしい水とはどんな水なのか水を集めて、小学六年生の夏休み自由研究で調べてみました。調べた水は、水道水、日本と外国のミネラルウォーター、わき水です。

硬度や残留塩素。PHを調べてわかったことは、硬度とは、水にカルシウムやマグネシウムがどのくらい入っているかを表しているのだと知りました。残留塩素は水の消毒に使った塩素の残り、残留塩素が多すぎると水がおいしくなくなってしまうが、安全な水道水を供給するためには、消毒は欠かせないのだと分かりました。結果から考えたことは今回の実験で集めた水の中だと、日本のミネラルウォーターがおいしい水の条件に合いました。飲んでみたところ、確かにおいしいと思いました。硬水だった外国のミネラルウォーターもおいしく感じました。わき水の味も気になりましたが、飲んではいけな水だと言われたので飲みませんでした。また家に浄水器をつけたらいろいろ調べてみたいと思っています。

もっと水について深く知りたかったので、水の問題についても調べてみました。

私たちにとって水はとても大切です。人々はふつうの生活を送るため、一日に少なくとも五十リットルの水が必要です。しかし、世界の多くの人々が一日に五十リットルの水を手に入れることができません。

地球にはたくさん水があります。しかし水のおよそ九十七・五パーセントは海水です。そして、ほとんどの淡水は北極や南極の水ですし、深いところにある地下水は使えません。私たちが使えるわずかな水は、地球の表面に近い川、

湖、そして池にあります。地球が直径一メートルの球だとしたら、人間が利用できる淡水は小さいスプーン一杯くらいと考えられています。

問題は八億四千万人の人々が、安全な飲料水を十分に手に入れることができないことです。日本には一億二千七百万人の人がいます。日本の人口の六・五倍の人々が水を十分に手に入れていないことになりました。

もし、人々が水を十分に手に入れることができなければ、植物を育てることができません。そうになると、人々、特に子供たちは、遠くまで水をくみに行かなければなりません。これは、その子供たちが学校に行けなくなったり、勉強ができなくなったりすることを意味しています。すると、それらの国は発展することができません。私は、今まで世界でこのような大きな問題がおきていることをまったく知りませんでした。

水はとても貴重なものです。大切な水を少しでも節約できるように私は歯をみがくとき、コップを使います。一回につき五・四リットルの水を節約することができそうです。それは私が思っていたよりも多い水の量です。私は顔を洗うとき、洗面器を使いません。しかし、これからは、ずっと使うつもりです。水の問題と節約について家族と話し合いたいです。